

## 24. 第16回 WBUAP マッサージセミナー 参加報告

函館視力障害センター 渡邊麗恵 舘田美保

### 1 経緯

令和4年度、あはき\*のプレゼンスの向上を目的として「あはきのPRプロジェクト」に取り組み、函館視力障害センター業績報告会において発表を行った。令和5年9月、社会福祉法人日本盲人福祉委員会の依頼を受け WBUAP マッサージセミナーに参加、日本のあはきとそのPRビデオの意義と作成過程について発表し、PRビデオを視聴してもらった。

\*「あはき」とはあん摩マッサージ指圧・鍼・灸の略

### 2 WBUAP マッサージセミナーについて

WBU (World Blind Union) は、視覚障害者の福祉向上、機会の均等化及び社会参加を目的に活動し、約190か国の団体が加盟する国際NGOである。WBUAP (World Blind Union Asia Pacific) は、東アジア、東南アジア、太平洋オセアニアから構成される支部である。各加盟国の持ち回りで2年に1度開催されるマッサージセミナーでは、各国の視覚障害者を取り巻くカンントリーレポートやマッサージに関する研究発表が行われている。

### 3 第16回 WBUAP マッサージセミナー

(1) テーマ: “Promoting Sustainable Collaboration on Research, Training and Service Quality on Massage.”

(2) 参加国・参加者数: 12か国・約300名

(3) 会期: 令和5年9月7日(木)～9日(土)

(4) 会場: ベトナム ハノイ インターナショナル・コンベンション・センター

### 4 函館視力障害センター発表者・発表タイトル

発表者: 渡邊 麗恵

発表タイトル: “AHAKI PR Video Project Management”

### 5 発表に対するインパクト・今後の展望

あはきは疾病を未然に防ぎ、視覚障害者の尊厳と自立を確保することができる職業である。この発表を通して、日本のあはきの有効性や独自性がアジア諸国の参加者から高く評価され、技術支援プロジェクトの要望が多く寄せられた。なかでも国連職員からは、「あはきの国際支援プロジェクトを実施したいが、函館視力障害センターでプロジェクトを実施していないか」との具体的な相談があった。途上国では医療費を支払えない貧困層が多く、視覚障害者の職域が確保されていない。国立障害者リハビリテーションセンターがリーダーシップを発揮し、アジア諸国へ日本のあはきの技術移転を行うことで、国際的な課題解決に貢献できるものと考えている。